

まきばの風

ほかほか

Community Magazine of JA Doutou Asahi



ジュニアホルスタインクラブ ウィンタースクール



もくじ



あさひ四兄弟

長男 たいよう・次男 だいち
長女 みどり・次女 みるく

アメリカ酪農 規模拡大農場視察報告②	2
JA道東あさひ酪農協議会設立10周年特別講演会・JHCより	4
営農のページ (普及センター)	5
営農のページ (酪農試験場)	6
北海道地域農業研究所だより	7
別海高校より	8
平成30年営農年度12月末クミカン実績	10
第29回JA北海道大会パネルディスカッション	12
JAグループ通信	14
今こそJA・理事会報告 他	15
12月生乳生産・乳代単価情報・編集局から 他	16

みどりのJAお仕事紹介!

第17回

アメリカ酪農 規模拡大農場視察報告②



1月号の内容に引き続き、ミューラーファミリー3農場の概要と規模拡大の経緯について報告致します。

参加・報告者：西春別支所 営農課経営相談係長 茂木 直矢

ニューヨーク州イサカ市にあるミューラーファミリーの第1農場では、全て自家育成で2,600頭もの子牛を飼養しています。13か月齢でホルスタインの種をメインに人工授精し、初産分は、初産分は23か月とのことでした。子牛同士が触れられない距離間で600ものハッチが並べられていて、光景は壮大で、2か月齢までの子牛がハッチを使用しています。



第1農場の子牛たち

優れた繁殖成績

初産牛のパフォーマンスが良かったため、3農場全ての哺育牛と未経産牛を今は第1牧場で飼養していますが、常にベストの場所を探している状況です。

栄養コンサル・獣医師・マネージャー・オーナーのジョージらによる月に1回のミーティングなどで方針を議論しながら、空胎日数は72〜88日間、受精プログラムを利用し平均授精回数は2.2回とのことでした。乳房炎の発生率は1,500頭中1〜2%程度で、体細胞数は平均で10



万/ml、菌の培養検査は、全ての病原菌が特定され効率が良いという理由から診療所に委託していました。



第1農場の乾乳舎

第2農場

ジョージが第1農場に続き、次の土地を探していたところ、美しい丘の牧場を見つけました。その農場主は古いタイストール牛舎で、後継者もおらず今後経営を継続するか悩んでいた事もあり、お互いに意識が一致し資金を出し合い2003年にダブルオーナーによる第2農場が誕生しました。当時は、モデルと

したウイスコンシン州の農場へ足を運び勉強しながら、自分達で牧場をレイアウト・設計し実現に至りました。

同年に500頭と200頭FS、バンガーサイロを260,000千円（現在は約2倍の価格）で建設し、一部乳牛購入、マニユアラグーンも設置しました。また、2005年には500頭FB建設、2007年と2011年にも牛舎を建設し、飼養頭数も1,200頭まで拡大、現在までに償還は半分が終了しているとのことでした。



通気性良い構造の25頭ダブルパレルパーラー。個体乳量 43kg・DMI27kg・体細胞平均 12万/ml

第3農場

2016年に大量投資で購入したものの、古い農場だったため補修が必要な状況でした。搾乳牛の状態は良く当初の650頭から980頭に増頭、未経産牛1,700頭を飼養しています。農地面積は約1,000haで、14頭Wスイングパーラーはコンディションが悪く、作業が困難な場面もあります。建物と牛の購入で資金が無くなったため、現在は投資の資金を貯めている状態です。個体乳量42kgで3回搾乳、体

細胞平均14万/ml（目標10万/ml）。第2農場は生産性が良いものの、第3農場は経費コントロールが難しい状況にあり、アップローチ法としては①牛1頭当たり②生乳1kg当たり③トラクター1台当たりの経費を基本に考えながら、3,000頭を目標に800頭FSを3棟、72Pロータリーパーラーの建設を目指しています。

規模拡大の成功要因

ミユラーファミリーの視察を通じて①効率化②牛一頭当たりの経費（コスト意識）③NYの気候が規模拡大成功の背景にあり、加えて、都市が近く教育システムも充実しており、メキシコ人などの人材確保にも好条件が揃っていたため、ビジネス拡張が可能となったと考えています。

また、搾乳ロボットの導入を検討したのがジョージに聞いたところ、「3,000頭搾乳するのに、ロボットが60台も必要となるため、ランニングコストを考えるとロータリーパーラーの方が効率が良い」とのことでした。牛の値段も初生雌で6〜20万円、初妊牛で14〜16万円と安いことも増頭につながった背景にあると感じました。



農場マネージャー（左）
コンサルタント（右）



14頭ダブルのスイングパーラー

JA道東あさひ酪農協議会
設立10周年記念 特別講演会戦争を目の当たりにした
渡部陽一氏の言葉の重み

昨年11月28日マルチメディア館において「戦場カメラマン 渡部陽一氏」を招き「世界からのメッセージ〜平和と命の大切さ」をテーマに設立10周年記念特別講演会を開催しました。なぜ戦争が起きてしまうのか、中近東を中心とした戦場の現状についてお話を頂きました。

テレビで拝見していた通りのゆつたりとした語り口ですが、身振り手振りを交えての言葉は力強く迫力があります。「戦争の犠牲者はいつも子供達」と言われる通り、銃を持つ子供、劣化ウラン弾の影響で障害を負って生まれてきた子供達の写真には胸が詰まる思いがしました。また、戦場カメラマンとして「生きて帰ること」を大前提に、取材に赴く前には入念な段取りを欠かさないと話されていました。

私達が当たり前に「食べる」「学ぶ」こと、さらには「生きる」ことを戦争により阻害されている子供達がいる、戦争が終わった後も犠牲になっている子供達がいるという現実を目の当たりにしている渡部氏の言葉には大変重みがありました。

最後に出席者からの質問にも答えて頂き、独特の口調に笑いも起きるなど、渡部陽一氏の優しさがうかがえる講演会でありました。



挨拶をする佐々木 純 会長



身振り手振りを交えて力強く語る渡部陽一氏

JHC ウィンタースクール

ピザ作りにも初挑戦!

1月6日、JA道東あさひジュニアホルスタインクラブウィンタースクールが行われました。

今回は(株)べつかい乳業興社の加工センターで、パン作りを行いました。菓子パン2種類とピザ、創作パンの4種類を作り、会員・家族合わせて18名が参加しました。

加工センターの方から説明を受けながら、大きなパン生地を小さく切り分けて、1つずつ手で丸める作業を行いました。生地は具材を詰める作業を行いました。今年度は初めてピザ作りにも挑戦し、一人一人が自分の好きなトッピングを選び、楽しそうに作っていました。また、出来上がったピザは昼食として、おいしそうに食べていました。

業務用の機械

でたくさんのパンを作るのは大変でしたが、楽しみなが作業することができました!



排水改善の取り組み紹介

営農のページ
【普及センター】

春先の融雪水や大雨がほ場内の停滞水となり、作物の生育や管理作業に悪影響を及ぼしています。普及センターでは、根室振興局農村振興課や酪農試験場、JA中標津と連携し、ほ場の排水改善対策の取り組みを進め、効果の検証と優良モデルの波及により、地域の作物の生産性向上を目指しています。

1 排水改善の施工経過（平成29年度施工）

中標津町内の畑数カ所で①明きょ、②カットソイラー、③縦孔暗きょの試験を実施。



写真1 ①明きょと②カットソイラーの施工



写真2 ③縦孔暗きょの施工

②カットソイラーとは
暗きょの働きを助けるため補助的な水みちを施工する機械です。
③縦孔暗きょとは
ほ場表面から縦穴を開け、下層への水みちをつくる技術です。

2 排水性改善モデルほ場（ばれいしょ畑の縦孔暗きょ試験）の調査（平成30年度）

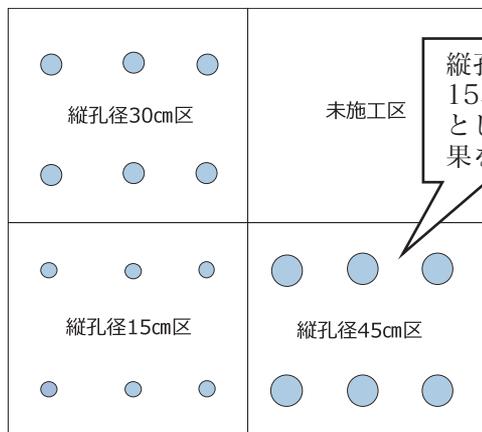


図1 縦孔暗きょ試験区の図面



10日後



写真3 試験区の滞水状況の推移

試験区のばれいしょを調査した結果、「茎長」と「でんぷん価」は、縦孔施工区の平均値が未施工区を上回りました。
縦孔径と収量性の検証には更なる調査が必要なため、今後もデータの蓄積に努めます。

区分	茎長 (cm)	でんぷん価 (%)
施工区平均	33.5	16.1
未施工区	32.7	15.6

3 今後の調査（平成31年度）

平成31年度は、平成30年の秋に新規施工した「カッティングドレーン」の効果検証について継続して行います。カッティングドレーンとは、深さ90cmの位置に幅10cmの空洞を作る無材暗きょ工法です。



写真4 カッティングドレーン施工

労務管理を考える

技術普及室 主任普及指導員 宮森 秀樹

営農のページ

【酪農試験場】

近年、農業分野における労働力不足は深刻化しており、「従業員として雇用したくても人がいない」や「せっかく雇用したけど長続きしない」などの話を聞くことがあります。

酪農経営では、経営規模の拡大が進み家族以外の従業員を雇用する経営が増えています。

経営を支える人材として従業員を育成し、長く働いてもらうためには、適正な労務管理が必要です。

1 労務管理の必要性

労務管理とは、「従業員の採用、研修、賃金や労働時間の管理、昇級、昇格、退職などの従業員の管理に関する内容や制度」です。

従業員を雇うときは、適正な労務管理が行われるように労働基準法・労働安全衛生法をはじめとした各種法令においてルールが定められています。法令の適用の有無だけでなく、農場で働くすべての人にとって皆さんの農場が魅力ある職場となるために、労務管理を意識した労働環境づくりが求められています。

〈労務管理の目的〉

- 1 労働のルールをしっかりと確立し、働きやすい職場環境をつくる
- 2 従業員がやる気、生きがいを持って、安心して働けるようにする
- 3 従業員を育て、能力を最大限に発揮できるようにする

2 労務管理上で知っておきたいポイント

✓ Point1 労働契約

・従業員を雇い入れる際は、重要な労働条件を書面で示し労働契約を結ぶ必要があります(労働基準法)。

【書面で交付しなければならない事項】

- ①労働契約の期間(有期労働契約では、契約を更新する場合の基準の明示も必要です)
- ②就業場所、業務の内容
- ③始業・終業時刻、所定労働時間を超える労働の有無、休憩、休日等
- ④賃金の決定・計算・支払の方法、賃金の締切り及び支払の時期
- ⑤退職(解雇を含む)に関する事

✓ Point2 就業規則

・労働条件や農場内の規則等について、従業員の意見を聞いた上で作成しましょう。

- ・就業規則に記載する内容は、①必ず記載しなければならない事項、②定める場合には記載しなければならない事項、③任意で記載する事項があります。
- ・従業員が常時10名以上いる農場では作成が義務づけられていますが、10人未満であっても無用なトラブルを防ぐためにも作成が望まれます。

✓ Point3 賃金

・最低賃金以上の賃金を支払わなければなりません(最低賃金法)。

・賃金台帳(労働時間数や賃金額等を記載)を作成し、3年間保存しなければなりません(労働基準法)。

✓ Point4 年次有給休暇

・6か月以上継続勤務し、全労働日の8割以上出勤した労働者(パート等も含む)には、年次有給休暇を与えなくてはなりません(労働基準法)。

・年次有給休暇の付与日数は、勤務年数や所定労働時間に応じて定められています。

✓ Point5 安全衛生

・従業員を雇い入れたときや作業内容を変更したときは、その業務に関する安全または衛生のための教育を行わなければなりません(労働安全衛生法)。

・常時雇用をする従業員について、雇い入れの際及びその後1年以内ごと(深夜勤務がある場合は、6か月ごと)に定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法)。

✓ Point6 保険

・法人又は常時5人以上の従業員がいる農場は、労働保険(労災保険、雇用保険)が適用されます。

・社会保険(医療保険、年金保険)は、法人経営の場合(健康保険・厚生年金保険)は強制適用となります。

農業における労働基準法の適用は、労働時間・休憩・休日の規定が一部適用外となっていますが、そのほかの規定は適用されます。また、生産のほか加工や販売などに取り組んでいる場合は、事業場の実態によっては労働基準法が全面適用される場合がありますので、注意が必要です。

北海道地域農業研究所だより

【自主研究・消費者交流事業の展開とその効果】 ―「550万人サポーター」体制の一層の強化を目指して―

昨年11月に開催のJA北海道大会は、前回に引き続き「550万人サポーター」体制の一層の強化を決議しました。これは非常に重要な事だと思えます。

思えば、随分昔から（当初からと言って良いかも知れませんが）、様々な形態を取りながら生産者と消費者との連携強化・相互理解が展開されてきました。稲刈り体験然り、乳搾り、様々な農作業体験や市民農園、親子体験農場など然りと云えます。またJA女性部が主催する料理体験や、調理や食べ方とセットになった直売なども然りでしょう。

更には、農家・生産者・JAが主催するものばかりでなく、例えば「北のめぐみ愛食フェア」や「コープさっぽろ農業賞」など市民・消費者団体が主催するもの、あるいは高校の教員が主導する「高校生チャレンジグルメコンテスト」などもその一つに数えて良いのかも知れません。実に多様です。それらはどのような切っ掛けで始まり、どのように展開されてきたのでしょうか。ある取り組みが次の取り組みにどのようにつながってきたのでしょうか。それとも、それぞれ独自に展開され、深化してきたのでしょうか。また、それらはどのような成果を生み、またどのような限界・問題点を持っていたのでしょうか。TPP11や日EU・EPAなどのメガEPAが発足する中で、「550万人サポーター」体制を確固たるものとし、それを強固な「国産愛用の壁、輸人物への障壁」とし、日本農業・農村を発展させていくためにも、それらを探り、今後の方向を見定めておくことは極めて重要ではないでしょうか。

本研究は北海道地域農業研究所の自主研究として、一昨年度後半から取り組まれているものです。消費（者）局面でのあり方が極めて重要なことから、消費（者）局面に精通している札幌保健医療大学の荒川義人教授に舵取りをお願いしました。荒川教授はテレビなど、メディアにも多数登場され、読者諸賢にもお馴染みの方だと思えます。

重要性は指摘されつつも、これまでなかなか取り組まれてこなかった課題です。まず事例を収集しその類型化を図ろうということ、手始めにコープさっぽろ、多田農園、くるるの杜、オフィスアンからの聞き取りを行いました。今後一年ほどかけて「消費者交流事業の展開とその効果」をまとめ、報告書として皆さんに提供していこうと考えています。乞うご期待。

【自己紹介を兼ねて一言 生・消協同・連携提携こそ日本農業を育む力】

こんにちは。地域農研の所長を務めている飯澤です。大学に入るために北海道にやってくるまで早50余年。70歳も超え医療費負担も二割に減りました。出身が山形県で当初「ズーズー弁」がひどく「山形弁蔵」の「愛称」も頂戴しました。山形県ついでにもう一つ。今では高知の四万十市や埼玉県の熊谷市にすっかり名を奪われた感ですが、山形は長らく40.8℃の「日本最高記録」を持ち、それはそれは暑いところでした。しかし、北海道で50余年も過ごしたためでしょうか、すっかり「寒冷地仕様」になり暑さは大の苦手になってしまいました。

ところで、北大で教鞭を執っていた頃から生産者と消費者の協同・連携こそが、力強い・真の意味の「輸入防波堤」を作ると言っていました。追求されている「550万人サポーター」体制と大いに通じるものがあります。TPP11や日EU・EPAが発足し、また日米貿易協定交渉が始まり「全面的輸入自由化」体制が一層深化しようとする中で、それは強調し過ぎてもし過ぎることはないと思えます。その先陣に立って行きたいと思えます。宜しくお付き合い下さい。

【地域農研ホームページへアクセスすれば各種情報が閲覧できます】

- | | |
|-------------|---|
| 1. アドレス | http://www.chiikinnouken.or.jp |
| 2. 書誌データベース | http://www.chiikinnouken.or.jp/zousyosearch/ |
| 3. 閲覧可能書誌 | 機関誌「地域と農業」、地域農業研究年報、研究叢書、学術叢書、研究報告書 |

・NZの酪農に対して放牧中心の酪農という古臭いイメージを持っていたが、全く違っていた。土壌や牧草の成長度合などをデータ化（数値化）し、詳細に分析したうえで飼料設計を行っていることなど、想像よりも手間と労力を使った酪農を行っていると感じた。



放牧の様子

・なんでも手をかければいいというわけではないと知った。牛目線ではなく人目線で仕事をする方法があると知った。

(川代)

・日本と比べると大規模で牛もマイペースに過ごしているのが印象的だった。また経営も極力出費を抑えた低コスト感覚が徹底していて、気候、風土もあると思うが道具や機械を大事に使うことは大切だと思った。

(田中)

今後の展望

・前搾りをしないことや大量哺乳は日本でも活かせるうだと思った。

(石黒)

・NZで経験した放牧酪農をそのまま我が家に取り入れることは難しいが、経費を極力抑えた経営の考え方は取り入れられる部分があると思った。今後は無駄を省き、シンプルで人・牛双方にストレスの少ない経営形態を考えていきたい。

(大内)

・楽に出来る所は楽にするなど、全部NZの方法が出来るとは思わないが、出来るところは取り入れて将来新規就農出来るように頑張りたい。

(川代)

・今回の経験を活かして草地、牛群管理に力を入れていきたい。

(田中)

まとめ

今回の実習を通して、NZの酪農のスケールの大きさに圧倒されました。「百聞は一見に如かず」といいますが、実際に自分の目で見て、1つ1つの光景に驚かされました。実習中は、生活に慣れるのが最初は大変でしたが、仕事は日本でもやっているので英単語やアプリなどを使って教えてもらいました。規模も経営体系も違うNZの酪農に触れて、改めて酪農の奥深さを知る事ができました。

最後に、今回お世話になったNZの農場の方々、現地エージェントの杉本さん、別海町酪農後継者を育てる会、別海高校農業特別専攻科、両親、日本の親方、研修にご支援ご協力いただいたすべての皆様に、この場を借りて心からお礼を申し上げます。

報告者：農業特別専攻科2年 川代 凱斗

●【経営科】東北道実績発表大会

1月16日(水)～17日(木)に、東北道学校農業クラブ連盟実績発表大会が美幌高校を当番校として美幌町民会館びほーるにて開催されました。

大会は、プロジェクト発表分野Ⅰ類からⅢ類までと、各高校の農業クラブ活動の発表がおこなわれました。分野Ⅰ類は生産・流通・経営に関する発表、Ⅱ類は開発・保全・創造に関する発表、Ⅲ類はヒューマンサービスに関する発表がおこなわれ、本校からはⅠ類とⅡ類にそれぞれ1発表ずつとクラブ発表について合計12名が出場し、どの分野のチームも冬季休業中登校して、資料作成や発表練習をおこないました。大会当日は十勝、釧路、オホーツクから8校144名が参加し、分野Ⅰ類からⅢ類までのプロジェクト発表と、クラブ活動発表の全34発表がこの1年間の研究や活動の成果を競いました。発表に参加した4つのグループのうち、Ⅰ類に出場したチームが見事優秀賞を獲得し、1月30日(水)から名寄にておこなわれる全道大会に出場します。



出場した生徒達

参加生徒は今回の大会をとおして、課題解決について取り組んだ成果を発表する経験を積むとともに、各研究や農業クラブ活動への取り組みをさらに深めることができた様子でした。

参加生徒は今回の大会をとおして、課題解決について取り組んだ成果を発表する経験を積むとともに、各研究や農業クラブ活動への取り組みをさらに深めることができた様子でした。

●【経営科】現在の進路状況

今年度も卒業が近づいてきました。3年生の進路は、14名全員が合格もしくは内定を得る事ができました。すぐに就農する生徒はいないものの、酪農関連産業やその他畜産、食品関連産業、建設関係への進路が多く、近年の就職について、求人数が比較的堅調であることもあり、どの生徒も目標通りの就職を叶えることができました。産業教育で培った成果を十分発揮してくれるものと思われます。

今年も含めると酪農経営科の卒業生の就職内定率は9期連続で100%となります。ご支援いただきました関係者のみなさまに、厚くお礼申し上げます。なお、詳細は次のとおりです(1月21日現在)。

【進学】

北海道科学技術専門学校、ベルエポック製菓調理専門学校

【就職】

道東あさひ農業協同組合、菅野建設、タイヨー建装、ASAHIサポートセンター、道東ファームサポート、ウディークラフト、三ツ星レストランシステムズ、岩浅測量設計、はなまる中標津店、ブライトピック他

別海高校 酪農経営科・専攻科

【専攻科】ニュージーランド研修から帰国！

平成30年9月27日～11月23日までの58日間、農業特別専攻科学生4名がニュージーランド（NZ）研修に参加しました。以下はその報告です。

今回の研修では、オークランドから車で2時間程度離れたロトルアという町の農場に滞在しました。

ロトルアには世界三大温泉の一つである、「泥の温泉」ヘルズゲートがあります。

農場は草地が104haで放牧地兼一部採草地として使われており、49のパドックに分けられていました。搾乳牛385頭、育成牛80頭を飼養しており、NZでは中規模経営の農場になります。マネージャーはデュランさんと言う方で、NZ人の従業員が一人おり、その人が休みの時は奥さんが手伝っていました。

牛はフリージアン種（ホルスタイン種）が大部分を占めておりジャージー種、キーンウィークロスも飼養していました。飼養形態としては常時放牧を行い、私が行った時期には放牧地にカルシウム、マグネシウムなどのミネラルをまいていました。

子牛は生後1週間簡易の育成舎で飼養し、その後子牛用のパドックに放し、哺乳とパルプ（ペレット状）飼料を与えていました。週に一度ミルクを給与後に体重測定をし、キーンウィークロスは85kg以上、その他は90kg以上で離乳していました。NZの牛は日本の牛よりもかなり小さく、成牛でも日本の育成牛ほどの大きさで、牛群は健康な牛と脚の悪い牛や乳房炎に罹患した牛の2群分けされていました。健康な牛は朝晩の2回搾乳で、足の悪い牛や乳房炎の牛は朝のみの搾乳でした。乳房炎罹患牛は非常に少なく、搾乳牛385頭中抗生物質による治療牛は1頭いるかいないかでした。



空港での出発式



オークランド



パーラーへの移動



子牛の哺乳の様子

私の研修先の乳房炎に関するルールは、1回目 バケットで搾って直す＆薬を投与、2回目プチ乾乳を3日間する、3回目搾らない（3本乳にする）と言う様に明確に分けていました。最初は大変でも、いずれは体細胞が低い牛が揃うので、リスクもありますが良い方法だと思いました。

1頭あたりの平均乳量は15kgほどでした。NZでは日本と違い、乳価を乳固形分【ミルクソリッド】の割合で算出します。2018年のミルクソリッドの単価は6.5NZドル（乳脂肪kg+乳蛋白質kg）で、生乳は1kg当たりの乳価で取引されており、訪問時の生産単価は6.5NZドルでした。日本式に計算すると40円



搾乳の様子

／Lになります。搾乳牛1頭の一年間の平均乳量は3,600kg、乳脂肪は平均4.7%、乳タンパクは平均4.3%程度で、体細胞数は約8万個でした。

搾乳施設は片側27頭収容のヘリンボーン式スイングパーラーでした。10月14日から授精が始まり、毎朝の搾乳中に発情の発見をし、朝の搾乳後に人工授精師による人工授精が行われていました。それを1ヶ月続け、次に2週間放牧地に種牛を放し、最後に2週間人工授精をします。

実習中の主な仕事は搾乳、搾乳舎の洗浄、人工授精のサポート、子牛の給餌、日中は除草剤散布、農場内の片づけ・清掃など、管理作業を行いました。子牛が成長してくるとグループごとにパドックへ移動させる作業も行いました。午後は大体5時前には終了し、その後は夕食、自由時間となりました。



人工AIの様子

生活していて、NZの風景は少し北海道に似ているなど感じましたが、道が広く、草地も勾配が急なところが多い印象を受けました。森林は日本とは違い凄く大きく、雪が降らず暖かいので木の成長が早いということです。本当に森林の大きさには圧倒されました。そして町並みがとても洗練されていて綺麗でした。



子牛の体重測定の様子

ニュージーランド研修から学んだこと

・乳量より長命連産を重視。牛にも人にも負担が少ない。放牧の方法、草地の使い方が考えられている。

（石黒）

22	23	収入合計
資金借入	資金受入	
千円	千円	千円
425,568	4,536,989	52,281,454
356,224	4,243,580	49,988,074
119.5%	106.9%	104.6%
69,344	293,409	2,293,380
315,781	2,194,589	45,485,370
109,787	2,342,400	6,796,084

30年-29年 -16 518,402 3 43,385 475,017

	30年	29年	30年	29年	差
	戸	千円	戸	千円	千円
30年	471	3,083,660	52	170,302	2,913,358
29年	487	2,565,258	49	126,917	2,438,341

所得率 30年 23.9% 29年 26.1% 30年収支 2,921,772
 乳飼比 30年 38.7% 29年 36.2% 29年収支 2,445,875
 差 額 475,897

農業所得 11,010,104 11,659,932

JA全体… 生乳出荷量 (H29年12月~H30年11月) は前年比101.2%、乳代単価 (補給金含む) は1.3円/kg増の99.8円/kg。収入全体では前年比104.6% (乳代単価の上昇、個体販売価格の上昇、貯金、前期繰越の上昇等)。
 一方、支出全体については、農業支出が全般的に増加傾向にあり、前年比103.8%。収支差額においては、前年比475,897千円の増加となっております。

60	61	その他62	農業	70	80	81	82	83	
諸税負担	支払利息	経 営 費	支 出 計	家 計 費	資金返済	共済貯金	農業機械	その他支出	支出合計
千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
1,839,319	249,619	919,524	35,036,881	4,885,396	2,960,524	4,206,170	716,987	1,553,724	49,359,682
1,840,353	265,367	910,240	33,097,204	4,976,479	3,098,306	4,254,196	702,421	1,413,593	47,542,199
99.9%	94.1%	101.0%	105.9%	98.2%	95.6%	98.9%	102.1%	109.9%	103.8%
-1,034	-15,748	9,284	1,939,677	-91,083	-137,782	-48,026	14,566	140,131	1,817,483
1,865,804	260,373	796,049	33,202,545	4,736,271	2,877,369	3,196,305	240,472	794,059	45,047,021
-26,485	-10,754	123,475	1,834,336	149,125	83,155	1,009,865	476,515	759,665	4,312,661

電話料、傷害労災保険、登記料以外増

専従者給与、乗用車、リース料以外減 積立貯金以外減

乳牛、肉牛、その他増

22	23	収入合計
資金借入	資金受入	
千円	千円	千円
814	8,675	99,965
665	7,917	93,261
122.4%	109.6%	107.2%
149	758	6,703

	30年	29年	30年	29年	差
	戸	千円	戸	千円	千円
30年	471	6,547	52	3,275	5,587
29年	487	5,267	49	2,590	4,563

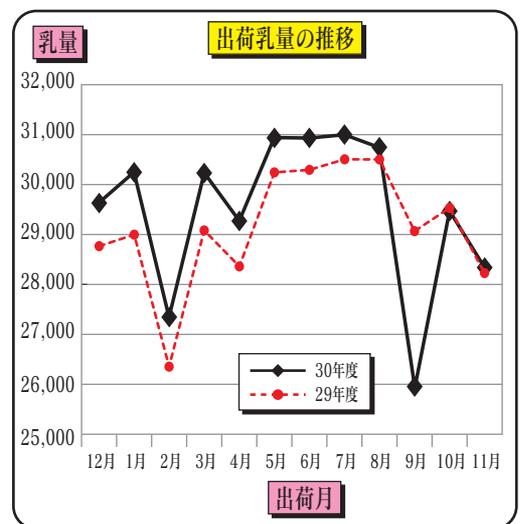
一戸平均… 収支差額で前年比1,023千円の増加となっております。

※全体を通じて、乳代、補給金単価、個体販売価格が堅調に推移し、前年より良好に推移しております。今後とも、営農計画に基づいたクミカン運用についてよろしくお願致します。

所得率 30年 23.9% 29年 26.1% 30年収支 5,587
 乳飼比 30年 38.7% 29年 36.2% 29年収支 4,563
 農業所得 21,052 21,754 差 額 1,023

60	61	その他62	農業	70	80	81	82	83	
諸税負担	支払利息	経 営 費	支 出 計	家 計 費	資金返済	共済貯金	農業機械	その他支出	支出合計
千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
3,517	477	1,758	66,992	9,341	5,661	8,042	1,371	2,971	94,378
3,433	495	1,698	61,749	9,284	5,780	7,937	1,310	2,637	88,698
102.4%	96.4%	103.5%	108.5%	100.6%	97.9%	101.3%	104.6%	112.6%	106.4%
83	-18	60	5,244	57	-120	105	60	333	5,680

8月	9月	10月	11月	合計	【乳代単価】
5,669,808	5,065,006	5,555,058	5,359,346	64,897,636	(99.8円/kg)
7,892,182	6,396,957	7,578,800	7,369,753	91,636,487	(99.4円/kg)
12,885,911	10,823,136	12,254,793	11,714,667	148,577,511	(100.0円/kg)
4,303,347	3,682,541	4,093,250	3,870,377	49,077,362	(100.2円/kg)
30,751,248	25,967,640	29,481,901	28,314,143	354,188,996	(99.8円/kg)
5,320,270	5,143,820	5,223,680	5,052,603	60,956,945	(98.7円/kg)
7,758,836	7,499,809	7,617,477	7,329,102	90,107,832	(98.0円/kg)
13,159,329	12,387,523	12,587,695	12,027,930	151,073,635	(98.5円/kg)
4,260,436	4,048,559	4,096,841	3,829,264	47,989,712	(98.9円/kg)
30,498,871	29,079,711	29,525,693	28,238,899	350,128,124	(98.5円/kg)
					※累計単価
106.6%	98.5%	106.3%	106.1%	106.5%	(1.1円/kg)
101.7%	85.3%	99.5%	100.6%	101.7%	(1.4円/kg)
97.9%	87.4%	97.4%	97.4%	98.3%	(1.5円/kg)
101.0%	91.0%	99.9%	101.1%	102.3%	(1.3円/kg)
100.8%	89.3%	99.9%	100.3%	101.2%	(1.3円/kg)



平成30営農年度12月末クミカン実績 (JA総計)

平成30年度実績

平成29-30年度差額

【JA全体】 《収入》

項目 年別	01 生乳	02 補給金	03 乳用牛	04 肉用牛	その他05 畜産物	06 家畜共済	その他12 農産物	20 雑収入	農業 収入計	21 農外収入
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
30年	32,780,397	2,731,694	2,966,670	3,476,794	237	1,414,508	257,835	2,418,850	46,046,985	1,271,912
29年	32,127,639	2,495,865	2,741,818	3,421,174	522	1,322,124	132,068	2,515,926	44,757,136	631,134
前年比	102.0%	109.4%	108.2%	101.6%	45.4%	107.0%	195.2%	96.1%	102.9%	201.5%
前年差額	652,758	235,829	224,852	55,620	-285	92,384	125,767	-97,076	1,289,849	640,778
30年計画	32,587,853	2,741,667	2,357,747	2,624,493	3,100	694,829	141,151	1,672,068	42,822,908	152,092
計画差額	192,544	-9,973	608,923	852,301	-2,863	719,679	116,684	746,782	3,224,077	1,119,820

【差額要因】 乳代単価上昇 補給金単価上昇 初生牛以外増 初生乳、肥育兼牛、経産肉用牛、黒毛和種増 牧草販売増 受入奨励金、その他減 受取利息、貸金収入、資産処分、その他増

《支出》

項目 年別	50 労賃	51 肥料費	52 生産資材	53 水道光熱	54 飼料費	55 養畜費	56 素畜費	57 農業共済	58 賃料料金	59 修理費
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
30年	2,436,634	1,300,257	1,919,827	2,439,536	13,727,815	2,289,431	349,064	1,427,697	4,036,016	2,102,142
29年	2,331,578	1,316,374	1,869,504	2,171,622	12,544,742	2,135,487	328,865	1,340,871	3,743,553	2,298,648
前年比	104.5%	98.8%	102.7%	112.3%	109.4%	107.2%	106.1%	106.5%	107.8%	91.5%
前年差額	105,056	-16,117	50,323	267,914	1,183,073	153,944	20,199	86,826	292,463	-196,506
30年計画	2,587,013	1,364,701	1,777,647	2,221,871	13,275,372	2,149,349	194,704	1,407,402	3,524,312	1,777,948
計画差額	-150,379	-64,444	142,180	217,665	452,443	140,082	154,360	20,295	511,704	324,194

【差額要因】 臨時雇用、役員報酬増 草地減 種苗費以外増 全般的に増 牧草以外増 全般的に増 育成牛導入増 全般的に増 販売諸費、その他、預託費増 全般的に減

【JA戸平均】 《収入》

項目 年別	01 生乳	02 補給金	03 乳用牛	04 肉用牛	その他05 畜産物	06 家畜共済	その他12 農産物	20 雑収入	農業 収入計	21 農外収入
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
30年	62,678	5,223	5,672	6,648	0	2,705	493	4,625	88,044	2,432
29年	59,940	4,656	5,115	6,383	1	2,467	246	4,694	83,502	1,177
前年比	104.6%	112.2%	110.9%	104.2%	0.0%	109.6%	200.1%	98.5%	105.4%	206.5%
前年差額	2,738	567	557	265	-1	238	247	-69	4,542	1,254

《支出》

項目 年別	50 労賃	51 肥料費	52 生産資材	53 水道光熱	54 飼料費	55 養畜費	56 素畜費	57 農業共済	58 賃料料金	59 修理費
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
30年	4,659	2,486	3,671	4,665	26,248	4,377	667	2,730	7,717	4,019
29年	4,350	2,456	3,488	4,052	23,404	3,984	614	2,502	6,984	4,289
前年比	107.1%	101.2%	105.2%	115.1%	112.2%	109.9%	108.8%	109.1%	110.5%	93.7%
前年差額	309	30	183	613	2,844	393	54	228	733	-269

出荷乳量の推移 (単位: kg)

		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
30年	上春別	5,296,131	5,448,253	4,950,283	5,425,537	5,294,244	5,628,592	5,551,250	5,654,128
	西春別	7,742,738	7,872,478	7,130,859	7,906,337	7,722,734	8,021,668	7,973,011	8,028,970
	別海	12,571,319	12,811,427	11,531,208	12,788,399	12,275,696	13,022,830	12,995,552	12,902,573
	根室	4,017,027	4,123,751	3,744,262	4,105,750	3,993,985	4,296,275	4,428,222	4,418,575
合計	29,627,215	30,255,909	27,356,612	30,226,023	29,286,659	30,969,365	30,948,035	31,004,246	
29年	上春別	4,917,340	4,957,198	4,522,823	4,990,754	4,892,287	5,245,537	5,277,862	5,412,771
	西春別	7,367,872	7,508,444	6,874,820	7,610,210	7,357,340	7,785,514	7,694,007	7,704,401
	別海	12,553,934	12,635,955	11,411,469	12,574,041	12,298,236	13,150,860	13,150,469	13,136,194
	根室	3,936,709	3,989,638	3,548,070	3,923,366	3,823,150	4,076,511	4,182,259	4,274,909
合計	28,775,855	29,091,235	26,357,182	29,098,371	28,371,013	30,258,422	30,304,597	30,528,275	
対比	上春別	107.7%	109.9%	109.5%	108.7%	108.2%	107.3%	105.2%	104.5%
	西春別	105.1%	104.8%	103.7%	103.9%	105.0%	103.0%	103.6%	104.2%
	別海	100.1%	101.4%	101.0%	101.7%	99.8%	99.0%	98.8%	98.2%
	根室	102.0%	103.4%	105.5%	104.6%	104.5%	105.4%	105.9%	103.4%
合計	103.0%	104.0%	103.8%	103.9%	103.2%	102.3%	102.1%	101.6%	

の難しさがあります。地震で被災したJAの施設に、若い人が結集して、被災したコンテナや馬鈴薯などを、自分たちの力で片づけ、1週間かかる作業が2日間で終わった。

若い人たちが農協に結集すると、すごい力となって働く。若い担い手の力の素晴らしさ。普段は、口にしなくても、何かあればJAに結集して、仲間や友を助ける自分のJAという想いに感銘を受けた。宮入教授 組合員との関係強化と

行友顧問 住民が長期間避難した地域では農業が空白状態になりましたが、飯館村などでは最初にお年寄りが戻り、最近では若者が移住して就農するケースも出てきています。そういう地域は人の繋がりが濃密で支えあいの土壌があります。社会関係資本（人間関係）が豊かな地域は、災害からの回復力が強いのではないのでしょうか。協同組合は、それを体現する組織であり、大事だと思えます。

宮入教授 「組合員との関係強



化』について、組合員の自主性をどう協同活動に活かすか。JAでも、組合員の想いを、上手く活かして事業にしていけることが、ニーズの多様化の中で求められると思う。

生活スタイルも世代も異なる人たち、JAに参加している。そういう声をどう聞き取るか。具体的な方法として、アンケートもあるが、声をどう聞き取って形にするか。生協の事例について、もう一度、お聞かせいただきたい。

青竹常務 生協の職員にとっては、生活や子育てへの組合員の想いを聞き取る力が大変重要です。

宅配担当職員は、週に1度、組合員と顔を合わせ、いろんな質問や悩みを聞く、生協をやめると言われる場合もありますが、その背景を聞き取ることが大事。また、近畿の生協では、職員研修で、JAにお願いをして、一定の期間、畑や牛舎・鶏舎など、生産現場を体験させてもらっています。

本日の大会議案で、若いJA職員に組合員の会議への参加を位置づけています。現場・組合員の所に行くことが重要であり、その中で、聞き取る力や相手の想いを受け入れる力が育ちます。このことが、人と人が作る協同組合の大きな特徴だと思えます。

宮入教授 聞き取った内容を情報交換する場所はあるのでしょうか。青竹常務 すぐに対応できるもの

は対応し、重要な商品クレームなどは、組織対応に引き上げることもあります。

クレームやお問い合わせ・要望を登録し、組織全体あるいは役員会・理事会で状況をつかむためのデータベース作りを進めている生協も増えています。

宮入教授 担当者も変わる中、データベース等にクレーム等も含めて、声を溜めることが、新たな取り組みに繋がるといってお話。



なるほどと思います。

多様な組合員ニーズという意味で、北海道の組合員数の80%に及ぶ准組合員との関係づくりをどうするか。准組合員との関係づくりについて教えて頂きたい。

小野寺副会長 前回大会で、55万人サポーターづくりを掲げ、准組合員をはじめ、消費者の皆さんと食と農で繋がることを目指して活動をしています。

農業者もある意味で消費者だと考えますと、多様な消費者がおり、生協からも、色々と学んでいかなければいけませんし、これからは、生協を含めて色々な方々と手を結び、横の連携を広くして、農業だけの目線で見るのではなく、多様な人たちの意見を農協が取り入れられるかに尽きると思えます。

北海道の世帯数の60%以上が、生協に加入しています。生協における組合活動の素晴らしさを、我々も認識し、組合員との関係強化に向けて、目線を移していかなければいけないと考えています。

宮入教授 准組合員調査を通じて、准組合員はJA事業利用に対して正組合員に近い考え方を持っていると感じています。自ら准組合員になっていく方々の声を、聞き取っていくことも大事だと思えます。

行友顧問 JA横浜では、准組合員向けの農業体験講座が発展して正組合員の農業を手伝う援農ボランティアの取り組みとなり、正組合員と准組合員の関係を作る契機にもなっています。

北海道は、准組合員の割合が高く、農協がないと地域が持たない部分もあると聞きます。地域の様々な課題に対応するうえで、正と准の垣根を低くして、協力しあう関係作りが必要だと思えます。

宮入教授 JA事業でライフレイン・インフラを維持している地域が数多く存在するの事実で、あつてはならないが、准組合員の利用が規制されると、JA事業も影響を受けます。正と准の支え合いを、目に見える形で作っていく必要があると思えます。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容は、WEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

JAグループ北海道は昨年12月17日に、北農ビルで9月に刈

り取った稲の脱穀やしめ縄づくりを行いました。田植えから稲刈りまで、1年を通して行ってきた食育活動「街なか田んぼ」の最終回として、中の島興正保育園の園児10名が参加し、園児自らが茶碗を使って稲を脱穀、すり鉢で粳すりをした後、精米機を使って精米まで行いました。ご飯が炊けるまでの間、稲わらを使ったしめ縄づくりも体験。最後は炊きたてのご飯でおにぎりを握り、自分たちが作ったお米を味わいました。JAグループ北海道は、これからも農業体験を通じて食と農の大切さを子供たちに伝えて参ります。



JA北海道信連

昨年12月に、地域貢献活動の一環として、サンタクロースに扮したJAバンクのキャラクター「ちよリス」が、被災地のむかわ町、厚真町、安平町と釧路市・中標津町の幼稚園等10カ所を訪問しました。

園児らと野菜しりとりゲームやダンスなどで楽しく交流し、最後にちよリスからクリスマスプレゼントを贈りました。地震により被災した地区の子ども達も、ちよリスとの触れ合う時間を楽しんでいました。



ホクレン

ホクレンは、冬においしい北海道かぼちゃ

「りようおもい」をアピールするイベント「冬至には「りようおもい」を食べよう！」を昨年12月15日、札幌市清田区のイオン札幌平岡店で開きました。同店の青果売り場で「りようおもい」を販売するとともに、

(株)もりもとの協力を得て、「りようおもい」を使用したぜんざい1,000食を正午からと、15時から2回に分けて来店客に提供しましたが、それぞれ1時間ほどで終了する盛況ぶりでした。



JA共済連北海道

2月4日から11日まで開催される「第70回さつぽろ雪まつり」大通会場4丁目にて、「平成30年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の入賞作品63点を展示します。交通安全の大切

さや交通安全に対する願いが描かれた小・中学生の皆さんの力作をぜひご鑑賞ください。

JAとJA共済連北海道は、今年もさまざまな地域貢献活動に取り組んでまいります。



JA北海道厚生連

昨年12月18日、札幌厚生病院小児科病棟にてクリスマス会が

開催され、北海道コンサドーレ札幌の深井選手と菅選手、ドーレ君、コンサドーレが病院を訪問されました。この企画は、JAグループ北海道とコンサドーレ札幌との相互協力協定に基づき、食育とスポーツ文化、地域文化振興にかかわる事業の一環として行われ、今年が11回目となります。プロ選手を目の前にして、緊張気味の子どもたちでしたが、PK合戦やダンスで緊張もほぐれ大いに盛り上がり、満面の笑みを浮かべていました。



今こそJA

第8回
農協改革への回答は改革プラン

平成26年5月、規制改革会議は中央会制度の廃止や全農の株式会社化などJA潰しととれる答申を発表し、これを踏まえて政府は翌6月に「規制改革実施計画」を閣議決定し、農協系統組織に自己改革を迫ってきました。JAグループ北海道はこうした動きを見据えて6月17日の全道農協組合長会議で「改革プランの策定」を決定し、8月から9月にかけて全道各地で組合員組織討議が行われました。

改革プランの策定にあたっては、「国からの押し付けではないのか」「今さら遅いのではないか」などJA、連合会段階でも大きな議論になりましたが、最終的にこれまでの事業を見直し、協同組合の原点に立ち返ってプランを策定していこうという結論に至りました。改革プランの表紙に書かれた「農業・農協改革は、自らの意志で」という言葉がその時の様子を物語っています。

JAグループ北海道改革プランの柱は4項目、多くの修正や変更を重ね

【JAグループ北海道改革プランー実行計画指針ー】

1. さらに儲かる農業の実現
 - (1) 収益向上の取り組み
2. 担い手を育みサポートする仕組みづくり
 - (1) 担い手の確保・育成 (2) 組合員の経営サポート
3. 発進！新時代の北海道農業
 - (1) 6次産業化の推進 (2) 道産農産物の海外への発信
 - (3) 農業・農村の魅力発信
 - (4) 農業の理解促進（食農教育活動、地産地消の推進）
4. 協同組合の未来方向
 - (1) 多様なニーズへの総合的かつ創造的な対応
 - (2) 協同活動の理解促進 (3) 地域社会へ貢献するサービスの提供

ねながら同年11月に完成しましたが、これが自己改革の基本指針として翌年度のJA北海道大会決議事項へとつながることになりました。

第12回理事会報告 平成31年1月30日開催

議案第1号	規程類の一部変更について	報告事項3	員外利用状況について
議案第2号	固定資産の取得について	報告事項4	苦情等対応状況及び従業員の交通違反と交通事故について
議案第3号	一般組合員に対する農業経営基盤強化資金の借入と貸付について	報告事項5	人事異動（退職）について
議案第4号	特定組合員に対する一般長期貸付資金の貸付について	報告事項6	融資審査会の結果について
議案第5号	特定組合員に対する平成31営農年度組合員勘定取引供給限度額、貸越極度額及び家計費現金供給限度額の設定について	報告事項7	定款第57条第6項に基づく貸出金に係る理事会承認案件の処理状況について
議案第6号	持続的生産強化対策事業に係る畜産経営体生産性向上対策における畜産農家のICT化に向けた調査の取組みについて	報告事項8	総体的なリスク管理について
議案第7号	平成30年度理事との家畜売買取引額（利益相反行為）の変更について	報告事項9	第3四半期末余裕金運用について
協議事項1	平成30年度肉用牛経営安定対策保管事業（災害緊急支援対策事業）における非常用発電機の貸付け方法とリース会社の選定について	報告事項10	平成31営農年度営農計画書の集計について
協議事項2	「仮称」つなぎ牛舎用搾乳ロボット導入検討会」連携による取組みについて	報告事項11	平成31営農年度資金需要について
報告事項1	貸借対照表及び損益計算書（12月末）について	報告事項12	平成30営農年度末クミカン残高と精算方法について
報告事項2	組合員の動向（12月末）について	報告事項13	平成30年度生乳流通体制合理化推進事業（非常用発電機・配電盤の設置）における申込み状況について
		報告事項14	女性部役員との懇談会、各支所女性農業者との懇談会、青年部役員との懇談会における意見集約内容
		報告事項15	災害緊急支援対策事業に係る補助金申請内容について
		報告事項16	販売事業実績（12月末）について
		報告事項17	購買事業実績（12月末）について
		報告事項18	行事予定について
		報告事項19	災害における酪農危機管理対策マニュアル【暫定版】について

医療費控除の提出書類が簡略化されました

平成29年分の確定申告から、領収書の提出の代わりに「医療費控除の明細書」の添付が必要となりました。医療費控除の明細書には、医療を受けた人ごと、病院・薬局ごとに医療費を合計して記載する必要があります。国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、医療費控除の明細書や確定申告書を作成することができますので、是非ご利用ください。
※医療費の領収書は自宅で5年間保存する必要があります（税務署から求められたときは、提示又は提出しなければなりません。）

12月 生乳生産・乳代単価情報

区分	12月	累計	脂肪率	無脂固形分率	補給金単価	FAT単価	SNF単価	乳質単価	乳代合計
全道	319,783t	2,880,927t	4.06%	8.82%	7.85円	37.40円	51.47円	3.76円	100.96円
前年(比)	100.5%	101.1%	4.08%	8.84%	7.89円	37.28円	51.21円	3.75円	100.49円
根室管内	66,377t	596,330t	4.10%	8.77%	7.85円	37.73円	51.14円	3.78円	100.99円
前年(比)	100.5%	100.1%	4.12%	8.80%	7.89円	37.64円	50.97円	3.78円	100.64円
JA道東あさひ	29,479t	266,203t	4.10%	8.76%	7.85円	37.70円	51.11円	3.79円	100.94円
前年(比)	99.5%	99.9%	4.12%	8.79%	7.89円	37.62円	50.92円	3.77円	100.56円
西春別支所	7,671t	68,655t	4.02%	8.77%	7.85円	36.95円	51.13円	3.85円	100.27円
前年(比)	99.1%	100.2%	4.07%	8.79%	7.89円	37.16円	50.91円	3.83円	100.16円
上春別支所	5,594t	49,372t	4.09%	8.80%	7.85円	37.67円	51.31円	3.82円	101.13円
前年(比)	105.6%	105.3%	4.10%	8.82%	7.89円	37.47円	51.10円	3.83円	100.65円
別海支所	12,224t	111,099t	4.14%	8.75%	7.85円	38.09円	51.04円	3.74円	101.21円
前年(比)	97.2%	97.1%	4.14%	8.78%	7.89円	37.83円	50.86円	3.70円	100.64円
根室支所	3,991t	37,077t	4.13%	8.75%	7.85円	37.99円	51.02円	3.77円	101.12円
前年(比)	99.3%	101.3%	4.16%	8.79%	7.89円	38.06円	50.89円	3.79円	100.98円

今月のあなたの運勢

2月 モナ・カサンドラ

♈ 牡羊座 3/21~4/19

【全体運】いつもとちょっと違う行動がスパイスになって、日々の生活が活気づく予感。新しい趣味を持つのも良い刺激に
【健康運】小さなけがに気を付けて。慎重さが大事
【幸運の食べ物】ワラビ

♉ 牡牛座 4/20~5/20

【全体運】不得意なことをやらねばならず、苦戦するかも。肩の力を抜き、気楽に構えて。助言には謙虚に耳を傾けると◎
【健康運】免疫力を高める工夫を。寝不足は避けて
【幸運の食べ物】キャベツ

♊ 双子座 5/21~6/21

【全体運】アクティブに動き回れそう。やってみてみたいことがある。意欲的にチャレンジしてみよう。講演会にも注目
【健康運】冷え対策を万全に。軽いマッサージが
【幸運の食べ物】のり

♋ 蟹座 6/22~7/22

【全体運】物事を悪い方向に受け取りやすい傾向あり。意識してプラスに捉えて。気晴らしには神社や仏閣巡りがお勧め
【健康運】不調を感じたら、十分な休息を心掛けて
【幸運の食べ物】アサリ

♌ 獅子座 7/23~8/22

【全体運】気分が変わりやすい時期です。気まぐれになり、対人面でもめまいよう、ご用心。芸術鑑賞をすると運運効果
【健康運】適度に体を動かして、ストレス解消を
【幸運の食べ物】ハッサク

♍ 乙女座 8/23~9/22

【全体運】受け身になり過ぎて、チャンスを逃す暗示。ただ、必要以上に出しゃばると争いを招く原因に。バランスが重要
【健康運】次第に上昇する兆し。まめな運動が有効
【幸運の食べ物】シュンギク

♎ 天秤座 9/23~10/23

【全体運】自己表現力が高まりそう。うまく長所をアピールでき、周囲から慕われるはず。クリエイティブな活動にもつき
【健康運】無理は禁物。生活リズムを整えましょう
【幸運の食べ物】フキのとろ

♏ 蠍座 10/24~11/22

【全体運】気力が低下しやすい。面倒なことを先延ばしして、もっと運を落とす結果に。感謝の心を思い出すと運気好転
【健康運】疲れをため込みがち。良質な眠りが必要
【幸運の食べ物】不知火(デコポン)

♐ 射手座 11/23~12/21

【全体運】人脈を広げられそう。同じ嗜好(しご)を持つ仲間たちとの交流も刺激。集まりには気軽に顔を出して
【健康運】体力増強に力を入れたら好調キープ可能
【幸運の食べ物】レンコン

♑ 山羊座 12/22~1/19

【全体運】地道なルーティンワークもさっさとこなせる月。持ち前の忍耐力を発揮できそう。気分転換には静かな音楽を
【健康運】徐々に回復。スポーツに関心が向くはず
【幸運の食べ物】シラウオ

♒ 水瓶座 1/20~2/18

【全体運】幸運期。未体験のジャンルに飛び込むと、グンと視野を広げられます。注目度が高まるので、自己アピールも大成功
【健康運】行動的になれるそう。体調に良い影響あり
【幸運の食べ物】コリ根

♓ 魚座 2/19~3/20

【全体運】いろいろ考えすぎてしまうもよう。鏡の前で笑顔を作り、気分を向上させましょう。リラククスには足湯がベスト
【健康運】評判の健康食材を試す好機。手応え十分
【幸運の食べ物】イダコ

ホクレン市場カレンダー

月	日	種類	西春別	上春別	別海	根室
2月	13日		8番	9番	1番	2番
	20日		9番	1番	2番	3番
	27日		1番	2番	3番	5番
3月	6日		2番	4番	5番	6番
	11日	育成	8番	9番	2番	1番
	13日		4番	5番	6番	7番
3月	20日		5番	6番	7番	8番
	21日	乳牛	8番	7番	9番	8番
	27日		5番	6番	7番	8番

異動職員

平成31年2月1日
西春別支所 ケアセンター
→西春別支所 営農課
営農企画係
小貫 翔
根室支所 購買課 購買係
→根室支所 生産課
畜産販売係
小網 美帆
購買部 資材燃料課
別海給油所
→根室支所 購買課
根室給油所
穴戸 俊博

採用職員

平成31年2月1日
購買部 資材燃料課
別海給油所
中村 准也
根室支所 生産課
根室育成センター
佐藤 慧弥

編集局から
全豪オープンテニスで大坂なおみ選手が見事優勝を果たし、日本人初となるシングルの世界ランキング1位に輝きました。大坂選手といえば、祖父が根室市在住ということもあり、市役所では垂れ幕が掲げられるなど、祝福ムードが続いています。
昨年の流行語大賞にノミネートされたサッカー日本代表の大迫選手のように、今後の活躍を期待してまいります。